

江東病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|-----------------------------|--|
| 研究課題名 | 当院における院内製剤カプサイシンクリーム の作成と使用状況 |
| 当院の研究責任者（所属） | 黒田 健吾（薬剤部） |
| 他の研究機関および各施設の 研究責任者 | 該当なし |
| 本研究の目的 | カプサイシンはトウガラシの辛味成分の1つで帯状疱疹後神経痛や慢性掻痒等に用いられ、海外では Zostrix-HP(0.075%)等の市販品がある。一方、日本におけるカプサイシン含有製剤は温湿布剤のみで軟膏やクリームとして販売されていない。今回院内製剤としてカプサイシンクリームを初めて作成した。カプサイシンの機序として、投与初期には内因性疼痛覚物質のサブスタンス P の放出が促進され血管拡張や局所刺激（痛覚過敏、灼熱感等）が起こるが、長期投与ではサブスタンス P が枯渇し、痛覚閾値が上昇することにより鎮痛効果を示す。 |
| 調査データ 該当期間 | 2022年7月から2022年12月までの情報を調査対象とする |
| 研究の方法 （使用する資料等） | ●対象患者さま 当院にてカプサイシンクリームを処方された患者さま ●使用する情報 電子カルテに記載のある診療情報を利用する |
| 資料／情報の他の研究機関への 提供および提供方法 | 他の機関への資料・情報の提供はない |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定出来る個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源（利益相反） | 本研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| 問い合わせ先 | 電話：03-3685-2166（代表） 担当：黒田健吾、小山智史、佐藤大輔、霞流千佳子、山室明子、池田美咲、安藤咲貴 |
| 備考 | なし |